

女性の起業応援事業【松原市】

個別事業費	338 千円
交付金額	169 千円

地域の実情と課題

市民アンケートから、女性が職業を持つことで望ましいと思われることについて、「子育ての時期は一時仕事をやめて家庭に入る」が約54%、女性が長く働き続けることを困難にしている原因と考えられるものについては、「出産、育児」が約35%、「家族等の介護」が約37%となっており、出産や育児、介護などが原因で就労が困難な現状がある。そのため、働く意欲と就労が結び付くよう、多様な働き方の普及啓発や起業の支援などが必要である。

事業の特徴

- ・子育てや介護等を行いながら就労したいという女性に対し、一つの就労の形態として、「起業」という自身で仕事を立ち上げ、就労する方法について知ってもらうためのセミナーを実施した。
- ・起業を身近なものに感じ、起業への一歩を踏み出すきっかけづくりになることを目的とし、実際に活躍している女性の起業家によるフェスタを開催した。
- ・起業に関心のある人向けの相談・情報交換の場としての「ぶち起業&キャリアカフェ」を開催し、起業について気軽に話ができる場所の提供や、起業仲間を増やすことで、孤立しないような支援を実施した。

事業の効果

- ・子育て世代を含めた様々な世代が参加したことで、起業についての周知や、子育てをしながらでも仕事ができるという意識付けにつながった。
- ・ぶち起業&キャリアカフェで起業仲間が増えたり、参加者どうしの交流で情報交換などができ、起業を続けるための支援となった。
- ・参加者満足度(目標100%、実績96.8%)
- ・事業参加リピート率(目標50%、実績54.0%)

目的・目標

- ・子育てや介護等を行いながら就労したいという女性に対し、一つの就労の形態として、「起業」という自身で仕事を立ち上げ、就労する方法について知ってもらい、子育てや介護をしながらでも可能な就労の形を見つけるきっかけづくりやすでに起業した人が孤立せずに事業を継続できるような支援を目的とする。
- ・社会での女性の活躍がより進んだと思う市民の割合
(目標100%(令和5年度末まで)、実績値58.2%(令和4年度))

連携団体

- ・松原市市民生活部産業振興課・・・広報連携
- ・松原商工会議所・・・広報連携、情報共有
- ・松原市男女共同参画推進審議会・・・事業の進捗状況、成果報告

今後の課題

参加者数を増やすための取り組みとして、広報紙やチラシ以外にインターネットを使用した周知方法や申込方法を取り入れる。また、起業に関心がある人に興味を持ってもらえるようなテーマ設定を行う。そのために過去のアンケート結果からニーズを見つけ出して、より満足にできるものにするよう努力する。

事業の概要

松原市 女性の起業応援事業 令和5年度 主な事業について

起業に関心のある方向けの交流会
「ぷち起業&キャリアカフェ」
(毎月第3金曜日に実施)



女性起業家によるフェスタ
「まつばら女子フェスタ
～松原MAJA (マハ)～」



女子起業家育成連続講座
「ぷち起業家さんのためのChatGPT・
AI使いこなし講座」



子育てや介護等を行いながら就労したいという女性に対し、一つの就労の形態として「起業」という自身で仕事を立ち上げ、就労する方法について知ってもらうために、年間を通して様々な講演やイベントを実施しております。

また、子育てや介護をしながらでも就労可能な形を見つけるきっかけづくりや、すでに起業した人が孤立せずに事業を継続できるように、起業に関心のある方向けの交流会を毎月行っています。